

# 道路用 Web 記述言語 RWML (Road Web Markup Language) Ver.2.0を公開しました

雪氷チーム・地域景観ユニット

## 1. はじめに

北海道の道路情報総合案内サイト「北の道ナビ」の距離と時間検索という機能について、2008年4月に大幅な改善を行ったことを既報によりお知らせしました。このたび、その機能改善のベースとなった技術仕様書を公開しましたので紹介します。

## 2. RWML の改訂

道路用 Web 記述言語 RWML は、当研究所の発案に基づき、道路に関連する情報を XML (Extensible Markup Language) で記述する目的で、企業及び団体からなる共同研究機関等によるワーキンググループを設け、1998年6月より議論を重ねて結果をとりまとめたものです。

1999年に Ver.0.71、2003年に Ver.1.0、このたび2008年4月に Ver.2.0の仕様を制定し、インターネット上で公開しました(図-1, 2)。

RWML とは、様々な情報が機械にも理解可能なデータとして扱われるよう、一般化して定義したものです。情報を特別の対の<タグ>で囲むことにより、それがどのようなデータで、どのように使われるべきものかを機械や使う側にも理解可能としているものです。

今回の改訂は、RWML Ver.1.0で制定している内容

に不足が生じたのと、情報をより効率的に扱うため、RWML の構造について全面的に見直しを行い、Ver.2.0としました。主な改訂点は以下の通りです。

- 1) 道路情報の充実…道路気象、規制情報、道路画像、道路情報板表示情報より構成。
- 2) 気象情報の充実…気象に関する情報、注意報・警報情報より構成。
- 3) 防災情報の充実…災害、防災復旧対策に関する情報、震度情報より構成。
- 4) 地域情報の充実…道の駅や道路沿線地域でのイベントやレジャーなど地域観光などに関する情報、シーニック情報、駐車場情報より構成。



図-1 道路用 Web 記述言語 RWML トップページ (<http://rwml.its-win.gr.jp/>)

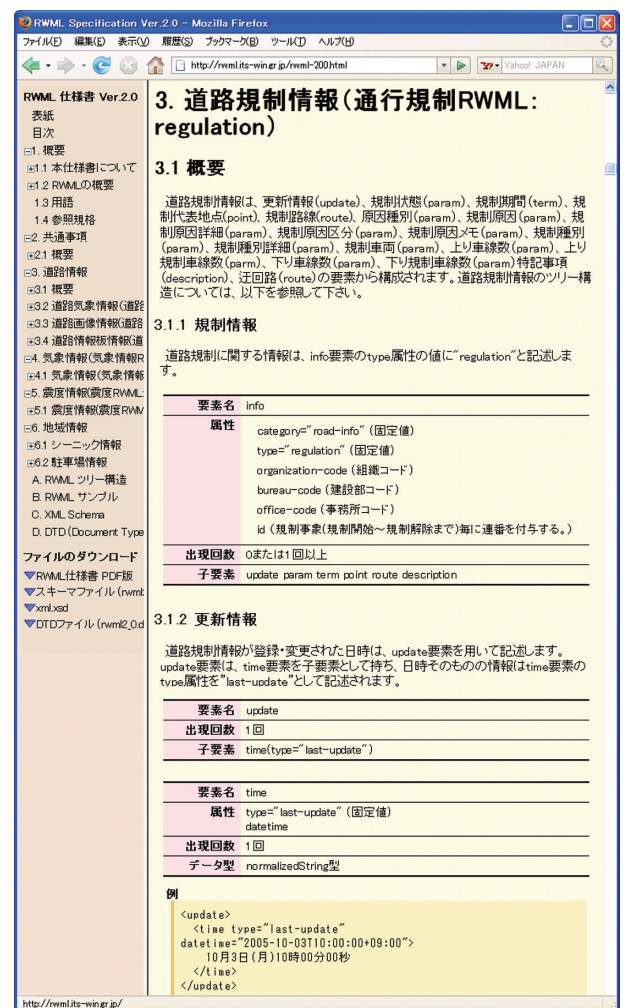


図-2 RWML Ver. 2.0仕様書ページ (<http://rwml.its-win.gr.jp/rwml-200.html>)

なお、Web 技術の標準化を進める国際的な団体である W3C (World Wide Web Consortium) は、1998 年 2 月に標準仕様勧告として XML 1.0 を発表しており、RWML もこの仕様に準拠しています。

### 3. 「北の道ナビ」の距離と時間検索

「北の道ナビ」の距離と時間検索は、RWML 技術を全面的に採用し、検索結果の情報提供内容を充実しました。

具体的な改善点は、走りやすさ指標、国道の通行止め情報、通過する峠の道路カメラ画像情報、道の駅の地域イベント情報、沿道の景観情報などを、RWML や RSS (※) を用いてルート順に表示し、利用者がルートを選択する際の判断材料になる情報提供が行えるようにしたことです(図-3)。

これらの情報の一部は、北海道開発局の新しい道路情報提供システム「北海道地区 道路情報(<http://info-road.hdb.go.jp/>)」から出力されている RWML Ver.2.0 形式のデータを定期的に監視し、必要な情報を選択、加工して距離と時間検索結果に反映しています。

RWML を用いることにより、インターネット上に分散する道路関連情報が、必要に応じてアプリケーション側で選択・加工し、利用者に提供することが可能となります。利用者の位置や情報ニーズ、嗜好に応じて情報を取捨選択したり、情報を組み合わせて提供したりすることが可能になりました。

この機能改善により検索回数も増加し、機能改善を行った2008年4月1日から、8月20日現在までの検索回数は、1日当たり平均約11,740回となりました。

### 4. おわりに

道路用 Web 記述言語 RWML の仕様書は、専用サイト(<http://rwml.lts-win.gr.jp/>)にて公開していますので、道路技術者の方々に、広くご活用いただければ幸いです。

(文責：雪氷チーム・地域景観ユニット 松島哲郎)

※ RSS (RDF Site Summary) …各種 Web サイトの更新情報などを、他のサイトへ配信したり、情報を選択・加工するために統一された XML ベースのフォーマットの総称。



図-3 機能改善を行った距離と時間検索結果 (<http://northern-road.jp/navi/time/>)